

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
1	消防ポンプ自動車CD-I型整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防団 旭分団 いちき串木野市下名 14103 - 15		
交付金事業の概要	消防ポンプ自動車CD - I型 1台		
総事業費 (千円)	17,430	交付金充当額 (千円)	16,312
交付金事業の成果及び評価	<p>本市は、消防本部を中心に消防署、消防団本部3名、13分団272名の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき整備し、住民の災害等に対する不安を除去し、安全且つ安心して暮らすことのできるまちづくりを目指している。</p> <p>現在、消防団の旭分団に配備されている消防ポンプ自動車（こがね号）は、昭和63年に導入以来、既に20年が経過しており次のような状態が発生し、消防活動に支障をきたしている。</p> <p>①バッテリーの完全放電や揚水モニターランプが点灯状態になっている。 ②エンジンは始動するが回転数が上がらない。 ③ポンプ本体の老朽化による止水弁等の経年劣化により高台での火災で放水圧力が上がらない。 ④吸管においても、経年劣化により内張ゴムの剥離やひび割れによる吸水能力の低下（落差のある箇所から吸水ができない。）。</p> <p>また、現在の消防ポンプ自動車の乗車人員は7名であるが、風水害等の災害現場においては多くの人員で対応する必要があることから乗車人員を10名乗りに更新する必要がある。</p> <p>そのため平成22年3月に消防ポンプ車の更新を行なった。更新した車両は、自動揚水ができる最新型であり、乗車定員10名で操作が容易なオートマチック車である。</p> <p>更新後これまで災害出動はないが、消防合同演習1回、消防ポンプ自動車の取扱い及び操縦訓練等を5回実施している。</p> <p>今回更新したことにより、これまでの経年劣化による不具合が解消され、現場での消火活動がスムーズに行えるため、火災による被害の軽減が図られるものと思われる。また、乗車人員が10名になったことから、災害等の現場において多くの人員で対応ができるなど消防力が強化され、消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	消防ポンプ自動車CD-I型購入	指名競争入札	（株）鹿児島消防防災
			契約金額 (千円) 17,430
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
住民の安心安全を確保するため、消火活動及び防災活動を確実に実施できるように消防ポンプ自動車の更新は必要であると考えます。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
2	消防用ホース 50mm 整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 - 1		
交付金事業の概要	50 mm×20m 使用圧 1.6MP a 10 本 50 mm×20m 使用圧 1.6MP a 結合金具口径 65 mm 20 本		
総事業費 (千円)	1, 0 4 0	交付金充当額 (千円)	1, 0 0 0
交付金事業の成果及び評価	<p>本市は、消防本部を中心に消防署、消防団本部 3 名、13 分団 272 名の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき整備し、住民の災害等に対する不安を除去し、安全且つ安心して暮らすことのできるまちづくりを目指している。</p> <p>消防用ホース 50 mmについては、65 mmの消防用ホースに比べ軽量で消火活動時移動が容易であるため、火点直近に部署する水槽付消防ポンプ自動車に積載している。また、50 mmのホースに 65 mmの異径金具を取り付けることにより、65 mmのホースにも結合でき、狭隘な道路等により水槽付消防ポンプ自動車が火点直近に部署できない場合等に火点までホースを繋いで延張する必要があるときなど、多くのホースが必要であり 65 mmの消防用ホースに結合できた方がより効果的な消火活動ができる。</p> <p>現在、消防署が保有している 50 mmの消防用ホースのうち 30 本は、平成元年以前に購入したもので、すでに 20 年以上経過しているため、ホースの中の内張ゴムが劣化し、ゴムの剥離によりホース内の水の通しをふさぎ、正常な放水が出来ない状態が発生したり、ホースの摩耗による破れで水漏れするなど、消火活動に支障をきたしている。</p> <p>そのため平成 21 年 10 月に消防用ホース 30 本の更新を行なった。今回の更新した消防用ホースは、呼称 50 mm、使用圧 1.6MP a で結合金具の口径 50 mmを 10 本と 65 mmの消防用ホースと接続を可能にするため、結合金具の口径が 65 mmのものを 20 本の合計 30 本である。</p> <p>更新後これまで火災出動 6 回、消防合同演習及び火災防御訓練で 13 回使用している。</p> <p>消防用ホースを更新したことで、老朽化した消防用ホースが減り、現場でのスムーズな防御体制が確立され、火災による被害の軽減が図られ、消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	消防用ホース 50mm 購入	指名競争入札	(株)熊谷消防設備
			契約金額 (千円)
			1, 0 4 0
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
住民の安心安全を確保するため、消火活動及び防災活動を確実かつ迅速に実施できるように消防用ホースの整備は必要であると考えます。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
3	消防用ホース 65mm 整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防団 中央分団外 12ヶ所 (旭町 1-2、西浜町 1-2、東島平町 417-1、羽島 5218、荒川 2450、下名 14103-15、上名 6660-1、冠岳 12984-2、湊町 1 丁目 252、大里 705-11、大里 5631、川上 1171、湊町 1 丁目 1)		
交付金事業の概要	消防用ホース 65 mm 65 本 65 mm×20m 使用圧 1.3MP a		
総事業費 (千円)	2, 4 3 0	交付金充当額 (千円)	2, 2 1 3
交付金事業の成果及び評価	<p>本市は、消防本部を中心に消防署、消防団本部 3 名、13 分団 272 名の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき整備し、住民の災害等に対する不安を除去し、安全且つ安心して暮らすことのできるまちづくりを目指している。</p> <p>現在、消防団が保有している消防用ホース 65 mmのうち 133 本は、平成元年以前に購入したもので、すでに 20 年以上経過しているため、ホースの中の内張ゴムが劣化し、ゴムの剥離によりホース内の水の通しをふさぎ、正常な放水が出来ない状態が発生したり、ホースの摩耗による破れで水漏れするなど、消火活動に支障をきたしている。</p> <p>そのため今回 65 本購入し、中央分団 10 本、本浦分団、照島分団、羽島分団、荒川分団、旭分団、生福分団及び冠岳分団各 4 本、湊分団、川南分団、川北分団及び川上分団各 6 本、市来支所分団 3 本の消防用ホースを平成 21 年 10 月に更新した。今回更新した消防用ホースは、呼称 65 mmで消防分団員の高齢者化対策として軽量となる使用圧 1.3MP a の消防用ホースである。</p> <p>更新後これまで火災出動 4 回、消防合同演習 2 回、操法訓練等で 136 回使用している。</p> <p>消防用ホースを更新したことで、老朽化した消防用ホースが減り、現場でのスムーズな防御体制が確立され、火災による被害の軽減が図られ、消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	消防用ホース 65mm 購入	指名競争入札	(株)ヨシキ
			契約金額 (千円) 2, 4 3 0
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
住民の安心安全を確保するため、消火活動及び防災活動を確実に実施できるように消防用ホースの整備は必要であると考えます。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
4	防火衣一式整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 - 1		
交付金事業の概要	防火衣一式 7式 (防火衣上下、防火帽、ヘッドランプ、安全帯、編み上げゴム長靴)		
総事業費 (千円)	1, 2 5 0	交付金充当額 (千円)	1, 2 2 5
交付金事業の成果及び評価	<p>本市は、消防本部を中心に消防署、消防団本部 3 名、13 分団 272 名の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき整備し、住民の災害等に対する不安を除去し、安全且つ安心して暮らすことのできるまちづくりを目指している。</p> <p>以前、消防署に配備していた防火衣は上衣のみのタイプであり、下半身はガラス片や鋭利な危険物品及び水濡れなどにより隊員の身体保護や安全性が十分に確保されていない状況であった。</p> <p>そのため、防火衣の更新を平成 19 から 21 年度の 3 か年で 47 式計画し、昨年度までで 40 式の更新を終えている。</p> <p>平成 21 年度は軽量化された最新の上衣とズボンタイプの一体型の防火衣、防火帽、編み上げゴム長靴、安全帯、ヘッドランプを一式として平成 21 年 12 月に 7 式更新した。</p> <p>更新後これまで火災出動 3 回、救助出動等 14 回、消防合同演習及び火災防御訓練等で 12 回着用している。</p> <p>防火衣一式を更新したことにより、隊員の安全性が確保され、より迅速で確実な活動ができるようになり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	防火衣一式購入	指名競争入札	(有)武田ファイテック
			契約金額 (千円)
			1, 2 5 0
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
5	CPRトレーニングシステム一式整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 - 1		
交付金事業の概要	CPRトレーニングシステム一式 4式 (CPR訓練人形本体、AEDトレーナー、リモートコントロール、付属品一式)		
総事業費 (千円)	1, 103	交付金充当額 (千円)	1, 000
交付金事業の成果及び評価	<p>本市では、平成 12 年に応急手当普及実施計画を定め、救急車到着までの間に的確な応急手当が実施できるよう普通救命講習 (3 時間講習) を人口の約 10% にあたる約 3,300 人の住民が受講することを目標に応急手当普及推進に取り組むとともに、住民が多く立ち寄る施設又は勤務する施設への AED 設置を促進し、心肺停止による突然死から住民の尊い命を守ることで、住民が安心・安全に暮らせるまちづくりを目指している。</p> <p>平成 16 年 7 月から一般住民による自動体外式除細動器 (以下「AED」という。) の使用が認められたことにより、住民の応急手当に対する関心は深まっており、最近の普通救命講習会の受講者は 19 年度が 19 回で 301 人、20 年度が 27 回で 504 人と増加傾向にあり、これまでの普通救命講習以外の短時間講習を含めると 1,352 名の住民が AED トレーナー等を用いた講習を受講している。</p> <p>また、市内の事業所や公共施設等への AED 設置も進み、平成 21 年 2 月末現在 37 施設に AED が設置されている。</p> <p>現在、本市が保有する 3 体の CPR トレーナーは平成 6 年に購入したもので、人工呼吸の吹込み量 (800~1,200ml) や心臓マッサージの圧迫の強さ及び位置を示すインジケーター (3.5 cm~5 cm) が旧心肺蘇生ガイドラインに基づくものであるため、2005 年に改正された新心肺蘇生ガイドラインに基づく人口呼吸の吹込み量 (約 500 ml) や心臓マッサージの圧迫の強さ (4 cm~5 cm) 及び位置を示すインジケーターにそぐわない。また、購入以来 15 年が経過し、各種部品の老朽化によりインジケーターが故障して使用できないうえ、人形の胸の硬さが様々なため心臓マッサージを行う際に圧迫の加減が違うという状態が発生している。</p> <p>そのうえ、AED トレーナーは 2 台しか保有していないため、現在は受講人員を制限しなければならず、講習の実効性に欠けている状況である。</p> <p>そのため平成 21 年 7 月に CPR 訓練人形本体、AED トレーナー、リモートコントロール及び付属品一式から構成される CPR トレーニングシステム一式を 4 式整備した。</p> <p>整備後これまで普通救命講習会 39 回、応急手当指導 32 回実施しており、受講者数が合計 1,751 人となっている。また、取扱訓練等でも 37 回使用している。</p> <p>CPR トレーニングシステムを整備したことにより、質の高い効果的な普通救命講習が可能となり、受講者も増加した。また AED の普及と合わせることで、住民の救命に対する意識の向上、救命率の向上及び住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	CPR トレーニングシステム一式購入	指名競争入札	(株)いすゞ医科器械
			契約金額 (千円) 1, 103
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
6	塵芥収集車整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市串木野環境センター いちき串木野市冠岳 10660		
交付金事業の概要	塵芥収集車 1 台 (4 トン車、ロータリープレス式)		
総事業費 (千円)	1 0, 7 1 0	交付金充当額 (千円)	1 0, 7 1 0
交付金事業の成果及び評価	<p>本市の可燃ごみについては、平成 17 年 10 月の市町合併から平成 18 年度までは串木野地域、市来地域それぞれ収集していたが、平成 19 年度からは市全域の可燃ごみを収集するようになった。住民が可燃ごみを出す日は週 2 回でその日に出されたごみをその日のうちに収集し、地域住民の快適な環境を維持するために努力しているところである。</p> <p>現在、可燃ごみの塵芥収集車を 4 台保有している。そのうちの 3 台で収集を行い、一番年式が古い収集車 1 台を、他の収集車の車検や故障時等の予備車として配置している。</p> <p>可燃ごみの収集は、平成 19 年度から市内全域を収集するようになったことで、収集車の 1 日の走行距離が多くなってきており故障修理も増えてきている。また、今回更新しようとする車両は一番古い年式で、平成 4 年 6 月に購入以来、既に 16 年が経過しており、現在はエンジン等の不具合がみられ故障修理も増えてきており、予備車としての機能を果たせないため、可燃ごみ収集に支障を来している。</p> <p>そのため、平成 21 年 8 月に塵芥収集車を 1 台更新した。</p> <p>今回更新した塵芥収集車は 4 t 車で、最大積載量が 7.5 m³の円形のドラムを回転させながら、ゴミを巻き込んで積み込むロータリープレス方式で、乗車定員 3 名のマニュアル車である。</p> <p>これまで収集をしていた 3 台のうち一番古い車両を予備車としており、今回更新した車両は、更新後これまで収集業務に 154 日使用しており、走行距離 13,081 kmとなっている。</p> <p>塵芥収集車を更新したことにより、現場での収集活動がスムーズに行えるようになり、住民の快適な生活環境の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	塵芥収集車購入	指名競争入札	いすゞ自動車南九州(株) 川内支店
			契約金額 (千円)
			1 0, 7 1 0
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
住民の快適な生活環境を確保するため、塵芥収集車の整備は必要であると考え。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
7	自動体外式除細動器一式整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市立串木野小学校外 21ヶ所 (上名 536、下名 5453-3、羽島 5359、下名 14067、上名 8605、荒川 2347-1、冠岳 12844-1、大里 3731、川上 1200、昭和通 133-1、上名 8576、冠岳 13511-2、羽島 5218、羽島 9675、下名 7956-1、下名 14103-1、荒川 2450、大里 3246-1、湊町 1 丁目 102、大里 5664、川上 978、上名 2455)		
交付金事業の概要	自動体外式除細動器本体・付属品一式 (22 式)、収納ボックス (22 台)		
総事業費 (千円)	6, 6 8 9	交付金充当額 (千円)	5, 5 2 8
交付金事業の成果及び評価	<p>一般住民による自動体外式除細動器 (以下「AED」という。) 使用が平成 16 年 7 月から認められたことにより住民の応急手当に対する関心は深まり、現在、市内の AED 設置施設は平成 21 年 2 月末現在 37 施設であり、そのうち市の公共施設については 5 中学校を含む 9 施設となっている。</p> <p>突然心肺停止になった場合、心室細動による心停止である確立が高く、その傷病者に対しては一刻も早い除細動器による電気ショックを行うことで救命率が高くなるため、多数の人々が集まる公共施設への AED の整備が重要になってきている。</p> <p>①現在、本市の 9 小学校には 1,590 名の児童が在籍している。近年では、児童のみならず学校開放等により高齢者を含む地域住民の利用頻度も高くなってきている。しかしながら、AED が設置されていないため、学校内で心肺停止者が発生した場合、救急車が到着するまで対応できない状況である。学校安全対策上及び住民が学校を安心して利用できるよう AED の早急な設置が必要である。</p> <p>②現在、本市の 13 箇所の地区公民館等は、各種趣味講座、親子ふれあい教室、高齢大学などの生涯学習講座や各地域の公民館事業活動などで、子供から高齢者まで年間約 9 万 5 千人に利用されている。しかしながら、AED が設置されていないため、施設利用時に心肺停止者が発生した場合、救急車が到着するまで対応できない状況である。住民が施設を安心して利用できるよう AED の早急な設置が必要である。</p> <p>そのため、心配蘇生法の要領と人工呼吸・心臓マッサージを音声でコーチする機能を有している除細動器本体、付属品一式を 22 式、扉を開けたときに警報音で緊急であることを知らせる機能を有している収納ボックス 22 台を、串木野、照島、羽島、旭、生福、荒川、冠岳、市来及び川上の 9 小学校、中央公民館、生福地区、冠岳地区、羽島地区、土川地区、照島地区、旭地区、荒川地区、市来地域、川南地区、川北地区、川上地区及び勤労青少年ホームの地区公民館等 13 施設、合計 22 施設へ平成 21 年 7 月に設置完了した。</p> <p>設置完了からこれまで、AED を使う案件は発生していないが、AED を設置したことで、心肺停止に対する不安が軽減され、児童及び施設利用者の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	自動体外式除細動器一式購入	指名競争入札	株式会社 医科器械
			契約金額 (千円)
			6, 6 8 9
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
8	自動体外式除細動器一式整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市多目的グラウンド外6ヶ所 (上名5351、長崎町91、下名20957-1、大里5547-1、大里3750-1、湊町1243-1、湊町1丁目1)		
交付金事業の概要	自動体外式除細動器本体・付属品一式(7式)、収納ボックス(6台)		
総事業費(千円)	2,068	総事業費(千円)	1,922
交付金事業の成果及び評価	<p>一般住民による自動体外式除細動器(以下「AED」という。)使用が平成16年7月から認められたことにより住民の応急手当に対する関心は深まり、現在、市内のAED設置施設は平成21年2月末現在37施設であり、そのうち市の公共施設については5中学校を含む9施設となっている。</p> <p>スポーツをしている人が競技中突然心肺停止になった場合、心室細動による心停止である確立が高く、その傷病者に対しては一刻も早い除細動器による電気ショックを行うことで救命率が高くなるため、社会体育施設等へのAEDの整備が重要になってきている。</p> <p>現在、本市は多目的グラウンドなどの社会体育施設等を有しており、子供から高齢者の方まで年間約14万6千人が利用している。しかしながらAEDが設置されていないため、心肺停止者が発生した場合、救急車が到着するまで対応できない状況である。</p> <p>また、市の備品としてAEDを整備していないため、各種スポーツ大会等開催時には、いちき串木野市医師会からAEDを借用してきて不測の事態に備えている状況である。利用者が安心して施設を利用できるようAEDの早急な設置が必要である。</p> <p>そのため、心配蘇生法の要領と人工呼吸・心臓マッサージを音声でコーチする機能を有している除細動器本体、付属品一式7式と、扉を開けたときに警報音で緊急であることを知らせる機能を有している収納ボックス6台を平成21年7月に設置完了した。</p> <p>多目的グラウンド、市来運動場、市来体育館、市来武道館、串木野体育センター、B&G海洋センター体育館へは収納ボックスと一体で設置し、市来庁舎内市民スポーツ課へは、7~8月末間のみ開設される市民プールへの携帯、それ以外の期間については各種スポーツ大会等時及びAED未設置施設等への携帯を目的として整備するため本体のみを配備した。</p> <p>設置完了からこれまで、AEDを使う案件は発生していないが、AEDを設置したことで、心肺停止に対する不安が軽減され、施設利用者等の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	自動体外式除細動器一式購入	指名競争入札	(株)いすゞ医科器械
			契約金額(千円) 2,068
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
9	市道市来港線舗装工事		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市湊町地内		
交付金事業の概要	工事延長 L=205.00m 舗装工 アスファルト舗装 t=40 mm A=1,470.0 m ² 区画線工 中央線 204.00m・外側線 650.00m		
総事業費（千円）	5, 0 9 3	交付金充当額（千円）	4, 8 6 0
交付金事業の成果及び評価	<p>市道市来港線は、国道 3 号と国道 270 号を結ぶアクセス道路であり、沿線にアクアホール(多目的ホール)や地域公民館、また中学校や国民宿舎等地域の主要な施設が隣接しており、地域住民の生活に重要な役割を果たしている路線である。</p> <p>本路線は昭和 40 年代に整備され、アクセス道路であることから通行量が多く、路面の劣化が著しく進行し、ヒビ割れや凸凹がひどい状態である。そのため、車両等の円滑な走行が妨げられ、また、車両通行の際の騒音や振動などにより地域住民等の生活に支障をきたしている。</p> <p>本路線の舗装工事は、当初 2 か年で工事延長 360.0m の区間においてアスファルト舗装を 2,900.0 m²行う計画で、平成 20 年度に工事延長 255.0m の区間において、アスファルト舗装を 1,980.0 m²行ったところである。</p> <p>平成 21 年度は全体計画を見直し工事延長 105.0m、舗装面積 550 m²増やした工事延長 460.0m の区間においてアスファルト舗装を 3,450.0 m²行うこととしたため、平成 20 年度に引き続く工事延長 205.0m の区間において、アスファルト舗装を 1,470.0 m²実施し、平成 21 年 10 月に完了した。</p> <p>本工事の実施により、道路のヒビ割れや凸凹もなくなり車両通行の際の振動や騒音などが工事施工前より抑えられ、また、車両等の円滑な走行ができるようになり、アクセス道路及び地域住民の生活道路としての機能が回復し、地域住民等の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	市道市来港線舗装工事	条件付一般競争入札	(株)本田建設
			契約金額（千円） 5, 0 9 3
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
10	市道曙・桜町線外1道路改良工事		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市桜町地内		
交付金事業の概要	工事延長 L=231.90m 排水路工 300型縦断用側溝(落蓋)L=320.00m、 300型横断用側溝(落蓋)L=10.00m、I・II型溜柵工 4箇所 舗装工 アスファルト舗装 t=40mm A=940.00㎡		
総事業費(千円)	10,437	交付金充当額(千円)	9,990
交付金事業の成果及び評価	<p>市道曙・桜町線及び市道桜町4号線は、本市でも人口密度の高い中央地区にあり、周辺には商店街、病院、福祉施設及び公園等が近接しており、地域内外の住民も利用する道路であり、地域住民等の生活に重要な役割を果たしている。</p> <p>本路線は昭和40年代に整備しているため、路面の老朽化が著しく進行し、ヒビ割れや凸凹がひどく、また側溝も割れている状態である。そのため、車両等の円滑な走行が妨げられ、車両通行の際の騒音や振動が生じている。また、側溝が割れたことによる路肩の劣化や排水の詰まりなどが生じ、歩行者等の安全な通行が妨げられるなど、地域住民等の生活に支障をきたしている。</p> <p>このようなことから、工事延長231.90mの区間において、側溝を330.0m取り替えて、アスファルト舗装を940.0㎡実施し、平成21年12月に完了した。</p> <p>(市道曙・桜町線：工事延長105.4m、排水路工72.0m、舗装工550.0㎡) (市道桜町4号線：工事延長126.5m、排水路工258.0m、溜柵工4箇所、舗装工390.0㎡)</p> <p>本工事の実施により、道路のヒビ割れや凸凹もなくなり車両通行の際の振動や騒音などが工事施工前より抑えられ、また、車両等の円滑な走行及び歩行者等の安全な通行ができるようになり、地域住民等の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	市道曙・桜町線外1道路改良工事	条件付一般競争入札	(株)永山工務店
			契約金額(千円) 10,437
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
1 1	市道土佐・平江線道路改良工事		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市元町外地内		
交付金事業の概要	工事延長 L=127.00m 排水路工 街路型 300 側溝 (縦・横断) L=216.00m R-300 型横断暗渠工 L=14.00m 舗装工 歩道 アスファルト舗装 t=40 mm A=220.00 m ² 車道(取付) アスファルト舗装 t=40 mm A=87.00 m ²		
総事業費 (千円)	1 0, 3 5 3	交付金充当額 (千円)	9, 8 7 0
交付金事業の成果及び評価	<p>市道土佐・平江線は、本市でも人口密度の高い中央地区に位置し、周辺には商店街、寺院、歯科医院、保育園及び公園等が近接していることから、地域内外の住民が利用する道路であり、地域住民等の生活に重要な役割を果たしている。</p> <p>本路線は昭和 40 年代に整備しているため、路面の老朽化によるヒビ割れや凸凹がひどく、車両等の円滑な走行が妨げられ、車両通行の際の騒音や振動が生じている。また、道路と歩道に段差があるため、高齢者等が安心して通行できないなど地域住民等の生活に支障をきたしている。</p> <p>本路線の改良工事は平成 21 年度から平成 22 年度までの計画で、工事延長 272.9m の区間において、側溝を 389.0m 取り替えて、歩道の整備も含めたアスファルト舗装を 2,259.0 m²行なうものである。</p> <p>そのうち平成 21 年度については、工事延長 127.0m の区間において、側溝を 228.0m 取り替えて、歩道のアスファルト舗装を 220.0 m²、取付部分の舗装を 87.0 m²実施し、平成 22 年 3 月に完了した。</p> <p>本路線の事業は 2 か年計画の事業であり単年度の評価が困難であるため事業完了後に評価を行うものとする。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	市道土佐・平江線 道路改良工事	条件付一般競争入札	(有)福菌建設
			契約金額 (千円) 1 0, 3 5 3
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
住民が安心して生活できる住環境を確保するために本路線の整備は必要であると考えます。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
平成 22 年度			